

# 星神部族(天氏)<sup>あめ</sup>

先史時代

天之御中主神

天氏の長 = 星帝が  
北辰信仰の主宰者

2~1 万年前

中国

日本列島分離

〔 残遺が土着民間信仰  
の道教として発展 〕

天帝

中国古代神話の始源部と、天武天皇の祈  
禱対象が類似し、かつ、現在に伝わる日  
本神話で形骸化されているため、神道が  
道教思想を取り入れたように見える

5~4 千年前

織女と牽牛の邂逅~七夕伝説発祥

〔 中国固有神話の三皇五帝は  
北辰信仰との関連が乏しい 〕

BC221 年

秦始皇帝即位

天命を受けた皇帝概念  
が統治原理の礎となる

5 世紀

大和朝廷

〔 倭の五王時代は  
中国の冊封国 〕

AD603 年?

天津甕星から厩戸皇子へ皇権委譲

AD629 年

初代舒明天皇即位

北辰信仰を踏襲

AD678 年

天武天皇が天皇上帝(北辰)と  
東王父(星帝)に国家鎮護祈願

AD720 年

記紀成立し太陽信仰へ移行

〔 天之御中主神他を形骸化  
・天氏の名前と業績を抹消 〕

AD752 年

道教を国教化した唐の玄宗より、鑑真招聘時に道士派遣を提案されるが拒否

〔 北辰信仰を消去したばかり。太陽信  
仰は幼弱で、仏教の国教化を推進中 〕

AD939 年

平将門が北辰を奉じ常陸で新皇を名乗る

AD1868 年

明治維新

廃仏毀釈、国家神道化

AD1911 年

辛亥革命

統治原理としての北辰信仰終焉